

# 令和元年度事業報告書

公益財団法人 日中友好会館

# 目次

## I、公益目的事業

(公1) 青少年交流・教育交流事業	総合交流部	
1、「日中植林・植樹国際連帯事業」	・ ・ ・ ・ ・	5
2、対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」	・ ・ ・ ・ ・	10
(公2) 寄宿舎施設の運営	留学生事業部	
1、後楽寮入退寮状況	・ ・ ・ ・ ・	13
2、後楽寮研修棟入退寮状況		
3、開館以来の入退寮状況		
4、その他		
5、後楽寮修繕・改修工事		
6、活動実績		
(公3) 中国語及び日本語教育	日中学院	
1、全体の活動状況	・ ・ ・ ・ ・	17
2、学科状況		
3、各科活動状況		
4、校友会活動		
5、日中学院評議会		
(公4) 文化事業	文化事業部	
1、主催・協力事業	・ ・ ・ ・ ・	20
2、貸美術館展覧会実績		
II、収益事業	資産管理部	
1、オフィスビル賃貸事業	・ ・ ・ ・ ・	24
2、ホテル運営業務		
3、設備投資計画		
III、その他の事業		
1、会員相互友好事業	日中友好後楽会	・ ・ ・ ・ ・ 27
IV、法人の状況		
1、評議員会	・ ・ ・ ・ ・	29
2、理事会	・ ・ ・ ・ ・	30
3、中国日本友好協会との定期交流	・ ・ ・ ・ ・	31
4、広報	・ ・ ・ ・ ・	32
4、人事異動	・ ・ ・ ・ ・	32
5、在職者	・ ・ ・ ・ ・	33

## 〔I〕公益目的事業

### (公1) 青少年交流・教育交流事業 : 総合交流部

令和元年度は、外務省の推進する「日中植林・植樹国際連帯事業」及び対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」にて、招聘事業 27 団 2,421 名、派遣事業 1 団 10 名を実施。

平成 28 年度に開始された「日中植林・植樹国際連帯事業」は、令和元年度も継続し、招聘事業(日中両国以外の第三国・地域の出身者の参加を含む)を実施、年間 2,525 名の招聘目標人数に対し、18 団 1,955 名を実施。派遣事業の実施はなかった。

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」では、年間 475 名の招聘目標人数に対し、9 団 466 名を実施。派遣事業は計画になかったが、1 団 10 名を実施。

令和元年度は、「日中植林・植樹国際連帯事業」「JENESYS2019」とともに、4～12 月の事業を「日中青少年交流推進年」(※)の認定事業として実施(一部、外務省本省・在外公館等による「戦略的招聘」を除く)。

(※平成 30 年(2018 年)10 月の安倍総理訪中時に、日中両国政府は 2019 年を「日中青少年交流推進年」とし、今後 5 年間で 3 万人規模の青少年交流を実施することを発表。)

主な特徴として、「日中植林・植樹国際連帯事業」においては、「日中青少年交流推進年」である 2019 年に関し、外務省が、同事業の主目的である植樹活動及び環境・防災意識の啓発をベースとしつつ、対日理解促進の観点から「3つの架け橋」(①地方間交流(友好交流都市提携を結ぶ地域同士の交流)、②青少年交流(日中青少年の交流促進/日中知的交流の促進/地球規模課題)、③文化・スポーツ交流を軸に約 1,600 名規模の招聘事業実施を決定、主に高校生・大学生を中心に、それぞれ特色ある事業を展開することができた。特に、平成 29 年度より継続している中国大学生の地方間交流は、希望する自治体が徐々に増え、各自治体・地方レベルでの日中友好促進にもつながり、交流成果が大きかった。

また、11 月の中国大学生の招聘に合わせ、「日中青少年交流推進年 第 2 回 日中大学生 500 人交流」を実施、次世代の日中関係を担う日中の大学生約 500 人が一堂に会し、「互いの魅力の発見、発信」をテーマとした日中大学生ワークショップや夕食交流会を通して交流、相互理解促進のための大きなきっかけを作ることができた。

そのほか、外務省本省・在外公館等による「戦略的招聘」として、各界の様々な分野の青年を招聘、主なプログラムについては原則的に外務省本省・在外公館等が手配・調整する形で実施。

第三国・地域の招聘事業は、全体の約 2 割弱の人数規模で実施し、対象国・地域、分野も多岐に及んだが、環境・防災問題解決のためのプログラムや、同分野における協力

関係強化、次世代リーダー育成など、さまざまな目的に応じて実施された。

「JENESYS2019」は、単年度予算で令和元年度は招聘 466 名と、年々規模が縮小しているが、長年継続している中国高校生・中国青年(公務員・農村青年幹部・教育関係者・メディア関係者・研究者)を中心に、同世代または同分野青年との交流をメインにプログラムを実施。

また、中国社会科学院青年研究者代表団(招聘)との相互交流の一環として、中国社会科学院日本研究所の招待による日本青年研究者訪中団を、少人数ではあるが初めて派遣することができた。

なお「日中植林・植樹国際連帯事業」で、5 団 183 名の招聘事業が延期となった。(うち新型コロナウイルスの感染拡大による延期が 4 団 153 名)。

## 1. 「日中植林・植樹国際連帯事業」(第三国・地域を含む)

【招聘事業】 18件 合計招聘人数 1,955名 明細下記

(1) **2019年度中国高校生訪日団** \*日中青少年交流推進年 認定事業/3つの架け橋  
第2陣は(一財)日本国際協力センターに、第3陣はイオンコンパス(株)に委託。

陣名	招聘期間	招聘人数	団員構成・地域 *テーマ	訪問先	担当機関
第1陣	9月3日 ～9月11日	250	河南省、甘肅省、 江蘇省、内モンゴ自治区 *防災	東京、茨城、宮城、愛知、千葉、 神奈川、広島、熊本、長崎、 群馬、京都、兵庫	中国 教育部
第2陣	11月5日 ～11月13日	248	上海市、福建省、 安徽省、黒龍江省 *ものづくり	東京、新潟、埼玉、宮城、北海道、 大阪、和歌山、兵庫、熊本、岡山、 高知、滋賀、福岡、千葉	
第3陣	12月3日 ～12月11日	198	湖南省、陝西省、 重慶市、山東省 *環境	東京、神奈川、宮城、長崎、佐賀、 福岡、熊本、島根、山口、香川、 兵庫、大阪、京都	
合計		696			

滞在中2回の学校交流をしたほか、各陣テーマ(1陣:防災、2陣:ものづくり、3陣:環境)に基づくセミナーや関連企業・施設・地域の視察・参観を組み、体系的に学ぶ機会を設けた。各訪問校での交流では、日本高校生と共に環境や防災について学ぶ授業や自国の取り組み紹介、グループディスカッション等のプログラムにも参加、植樹活動も主として訪問校で行った。第2陣は団員の一部に職業科の生徒が選抜され、専門科のある高校で交流を行った。第3陣の一部は、「3つの架け橋」の重点分野③スポーツ交流として、サッカーに特化した男子高校生で構成、訪問校1校のサッカー部生徒と合同練習や対抗試合を行った。その他、第2陣は各地でホームステイ・農家民泊を体験した。

(2) **2019年度中国大学生訪日団** \*日中青少年交流推進年 認定事業/3つの架け橋  
第3陣は(一財)日本国際協力センターに委託。

陣名	招聘期間	招聘人数	団員構成・地域・テーマ等	訪問先	担当機関
第1陣	5月19日 ～5月26日	150	環境・防災(北京市、吉林省、重慶市、山西省)	東京、徳島、石川	中日友好協会

第2陣	11月11日 ～11月18日	149	スポーツ(囲碁・連珠、バドミントン、卓球)、文化(美術、映像・撮影)	東京、茨城、宮城、愛知、滋賀
第3陣	12月8日 ～12月15日	99	日本語を学ぶ大学生・大学院生(雲南省、貴州省、四川省)	東京、神奈川、三重、大阪、京都
合計		398		

植樹活動及び環境・防災に関するセミナー受講や関連施設・地域を視察・参観したほか、日本の大学を訪問・交流した。第2陣は「3つの架け橋」の重点分野③文化・スポーツ交流として、各分野に特化した交流プログラムを組んだ。第3陣は内陸部の日本語履修学生を招聘した。また第1～3陣とも学生全員が地方でホームステイを体験した。

### (3) 2019年度中国大学生友好交流訪日団

\*日中青少年交流推進年 認定事業/3つの架け橋

一部分団(河北/浙江/湖南/陝西)は(公社)青年海外協力協会に委託。

招聘期間	招聘人数	団員構成・地域(友好交流訪問先)	担当機関
11月23日 ～11月30日	298	安徽省(高知県)、江蘇省(福岡県)、 河北省(長野県)、浙江省(静岡県)、 湖南省(滋賀県)、陝西省(香川県)	中日友好協会

「3つの架け橋」の重点分野①地方間交流をテーマに、日本の各自治体と友好交流都市提携を結ぶ6地域の中国大学生を招聘した。この趣旨による招聘は平成29年度以降続けて3年目。外務省より全国の都道府県へ、受け入れ希望の調書を発出、希望があった自治体に友好交流都市提携を結ぶ地域の中国大学生が訪問する形で実施。日中双方の都市・地域間の理解がより一層深まっただけでなく、学生ら若い世代にとっても良い交流の機会となり、植樹活動も友好の証となり、受入自治体も非常に積極的だった。

また、交流団は東京で、日本大学生約200名と共に、「日中青少年交流推進年 第2回 日中大学生500人交流」に参加。日中大学生ワークショップと夕食交流会の二部構成で開催し、中山展宏 外務大臣政務官、中国大使館 楊宇公使参事官も出席して、日中両国間で5年間に3万人の青少年交流計画があり、青少年同士の交流に大いに期待する旨を述べた。

ワークショップでは、「互いの魅力の発見、発信」をテーマに、2カ国語声優・漫画家の劉セイラさんをゲストに迎え、日中の大学生9人が、互いの国を訪問し見つけた相手国の魅力を写真と短いフレーズにまとめ発表。会場の学生たちとの掛け合いもあり、参加した日中双方の学生たちは互いに知らなかった魅力を発見するとともに、改めて自国の魅力も感じる事ができた。夕食交流会では、日中大学生によるパフォーマンス披露のほか、ゲストの橘ケンチさん(EXILE パフォーマー/EXILE THE SECOND リーダー兼パフォーマー/LDH ASIA 取締役)が、日中大学生に向けて中国語で熱いメッセージを送った。交流行事の最後

には、日中大学生代表が、日中関係の未来に向けた『友情の誓い』を発表した。

さらに代表学生は、「第2回 日中大学生対話」に参加、日中大学生約30名で、若者カルチャーや理想の働き方、オリンピック施設の有効活用のテーマについて、意見交換した（協力：日中学生交流連盟、後援：朝日新聞社）。

**(4) 北京大学学生訪日団** \*日中青少年交流推進年 認定事業/3つの架け橋

招聘期間	招聘人数	団員構成	訪問先	担当機関
7月21日 ～7月27日	95	北京大学の大学生・ 大学院生	東京、大阪、 奈良、京都	北京大学(派遣協力:在中国 日本国大使館)

北京大学単独では初めての招聘。植樹活動、環境・防災に関するセミナーや関連施設の視察等を通じ、環境・防災に関する知識を深めたほか、大学訪問やホームステイを通じて、日本の同世代や一般市民との親睦を深めた。

**(5) 中国メディア訪日団** \*日中青少年交流推進年 認定事業

招聘期間	招聘人数	団員構成	訪問先	担当機関
12月16日 ～12月20日	14	中国のメディア関係者	東京、京都	(派遣協力: 上海外国語大学)

植樹活動、環境・防災関連施設の視察のほか、新聞・通信、テレビなどメディア関係者・研究者による「日中メディア対話会」に参加、「デジタル時代の日中メディアの役割」をテーマに日中双方で発表・意見交換をした。そのほか、新聞社や大学を訪問、関係者と交流した。訪日団歓迎会には、福田康夫 元総理も出席した。

**(6) 戦略的招聘**

外務省と在外公館等の企画による戦略的招聘として、中国青少年等5団352名を実施した。植樹活動及び環境・防災を中心に、主なメインプログラムを原則的に外務省本省及び在外公館が手配・調整し、実施。

**① 2018年日中緑化協力林業青年代表団** \*日中青少年交流推進年 認定事業

第2陣はイオンコンパス(株)に委託。

陣名	招聘期間	招聘人数	団員構成	訪問先	担当機関
第1陣	7月28日 ～8月3日	30	中国国家林業・ 草原局に所属する 青年	東京 北海道	中国国家林業・草原局 (派遣協力:在中国日本 国大使館)
第2陣	10月14日 ～10月19日	28			

合 計	58
-----	----

林野庁及び環境関連団体・企業・施設等の訪問・視察、北海道での自然環境保護に関する視察、関係者との交流、植樹活動等を行った。

### ② 2019年度中国外交部中堅幹部代表団

招聘期間	招聘人数	団員構成	訪問先	担当機関
8月19日 ～8月23日	10	中国外交部の中堅幹部	東京、和歌山	中国外交部（派遣協力： 在中国日本国大使館）

環境・防災関連のブリーフ、視察、植樹活動のほか、外務省や復興庁、自治体関係者との意見交換・交流を行った。

### ③ 若き津波防災大使

第三国・地域の受入実施は(株)JTBに委託。

招聘期間	招聘人数	団員構成(国・地域)	訪問先	担当機関
9月5日 ～9月12日	257	43カ国・地域の高校生 (※)	東京、北海道	各国・地域関係機関 (中国は中国教育部)

(※) 43カ国・地域(中国6名/他国・地域251名)：

アルゼンチン/オーストラリア/ブラジル/カナダ/チリ/中国/クック諸島/エルサルバドル/  
フィジー/フランス/ドイツ/インド/インドネシア/イタリア/キリバス/マレーシア/モルジブ/  
マーシャル/メキシコ/ミクロネシア/モンゴル/ナウル/オランダ/ニュージーランド/ニウエ/  
パラオ/パプアニューギニア/パラグアイ/ペルー/大韓民国/ロシア連邦/サモア/シンガポール/  
ソロモン/南アフリカ/スリランカ/タイ/トンガ/トルコ/ツバル/米国/バヌアツ/ベトナム

「若き津波防災大使」としての高校生招聘は平成28年度に始まり4年目。日本高校生とともに、「世界津波の日」2019高校生サミット in 北海道と記念植樹、北海道内での防災・減災に関するスタディツアーに参加(1993年北海道南西沖地震の津波被災地奥尻島への訪問も含む)。地震や津波等の災害への備え、対応について学習し、各国・地域共通の課題について議論した。

### ④ 中国四川省青年訪日団 \*日中青少年交流推進年 認定事業

イオンコンパス(株)に委託。

招聘期間	招聘人数	団員構成	訪問先	担当機関
10月14日 ～10月20日	27	四川省の大学生、 若手防災・環境部門職員	東京、広島	中日会館(派遣協力:在重 慶日本国総領事館)



環境・防災関連のセミナー、視察、植樹活動のほか、四川省と友好交流提携を結ぶ広島県で大学訪問・交流やホームステイ、農業体験等を行った。

### (7) 第三国・地域青少年招聘

第三国・地域の青少年 4 件 102 名を実施した（上記(6) ③「若き津波防災大使」の中国以外の国・地域 251 名を除く）。環境・防災に関するセミナー、関連施設の視察、植樹活動、日本の関係者との交流などを行った。

受け入れ実施は(株)JTBに委託。

**【実施延期事業】** ※以下の招聘事業については、令和元年度での実施は延期となった。

団名	招聘期間 (予定)	招聘人数 (予定)	担当機関
① 中国青年放送関係者代表团	11月17日 ～11月23日	(30)	国家ラジオ・テレビ総局 (派遣協力：在中国日本国大使館)
② 中国住宅・都市防災 視察訪日団	令和2年 2月16日 ～2月22日	(21)	中国不動産協会 (派遣協力：在中国日本国大使館)
③ 中国青年公益事業交流団	令和2年 3月1日 ～3月7日	(100)	中国宋慶齡基金会 (派遣協力：在中国日本国大使館)
④ 国家民族事務委員会 青年友好交流団	令和2年 3月22日 ～3月28日	(30)	国家民族事務委員会 (派遣協力：在中国日本国大使館)
⑤ 台湾メディア関係者招へい	令和2年 3月2日 ～3月7日	(2)	台湾三共テレビ ※受け入れ実施は(株)JTBに委託
合 計		(183)	

延期事由

- ① 中国青年放送関係者代表团は、中国側担当機関の事情により延期となった。
- ②～⑤の令和2年2～3月に実施を予定していた事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況等を踏まえ、延期となった。

**【派遣事業】** 実績なし

令和元年度は「日中植林・植樹国際連帯事業」による派遣事業の実施はなかった。

## 2. 対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」

【招聘事業】 9件 合計招聘人数 466名 明細下記

### (1) 中国高校生短期招聘事業 \*日中青少年交流推進年 認定事業

団名	招聘期間	招聘人数	団員構成・地域 *テーマ	訪問先	担当機関
中国高校生訪日団	6月11日 ～6月19日	100	山西省、雲南省 *ボランティア	東京、京都、滋賀、埼玉、 神奈川、北海道、大阪	中国 教育部
アジア国際子ども映画祭2019参加訪日団	12月3日 ～12月11日	10	北京市	東京、大阪、兵庫、埼玉	
香港・澳門高校生訪日団	12月10日 ～12月18日	75	香港、澳門 *ものづくり	東京、大阪、 愛知、三重、 奈良、愛媛	香港特別行政区政府教育局、澳門特別行政区政府教育暨青年局
合計		185			

#### ① 中国高校生訪日団、香港・澳門高校生訪日団

滞在中2回の学校交流を行い、同世代同士の親睦を深めたほか、ホームステイ・農家民泊・酪農体験を行った。それぞれテーマを設け（中国高校生:ボランティア、香港・澳門高校生:ものづくり）、セミナーやワークショップ、関連企業・施設・地域の視察・参観を組み、体系的に学ぶ機会を設けた。

#### ② アジア国際子ども映画祭2019参加訪日団

日本を含むアジアの16カ国・地域が参加し、兵庫県南あわじ市で開催された「第13回アジア国際子ども映画祭」に、短編映画を出品、参加して、日本及び他国・地域の小・中・高校生や一般市民と交流を深めた。また、都内で高校を訪問・交流した。

### (2) 中国青年代表団 \*日中青少年交流推進年 認定事業

招聘期間	招聘人数	団員構成(地域)	訪問先	担当機関
9月9日 ～9月13日	60	公務員、農村青年幹部 (北京市、河北省)	東京、静岡	中日友好協会

公務員・農村青年幹部とともに静岡県掛川市を訪問、環境政策や農業振興政策について、同市のブリーフや、環境資源ギャラリー、トマト農家等の関連施設の訪問・視察を行い、関係者と交流を深め、同分野について学んだ。

**(3) 第二十四回中国教育関係者代表団** \*日中青少年交流推進年 認定事業

招聘期間	招聘人数	団員構成(地域)	訪問先	担当機関
12月3日 ～12月7日	59	小・中・高校の教員 (北京市、山東省、河南省、湖北省)	東京、大阪	中日友好協会

教育交流事業として1996年度より継続、24回目の実施。文部科学省による日本の初等中等教育制度に関するブリーフ、大阪府教育庁との懇談会参加のほか、東京・大阪で小学校・中学校、小中一貫校、中高一貫校を訪問、授業見学や教職員との懇談を通し、グローバル人材育成教育やインクルーシブ教育等の実践について学んだ。

**(4) 中国青年メディア関係者代表団** \*日中青少年交流推進年 認定事業

陣名	招聘期間	招聘人数	分団・テーマ	訪問先	担当機関
第1陣	7月21日 ～7月28日	58	農業、オリンピック・ パラリンピック	東京、神奈川、 秋田、長野	中国国務院 新聞弁公室
第2陣	11月10日 ～11月17日	56	医療・介護、教育	東京、千葉、愛知、 三重、福岡、山口	
合 計		114			

団員は中央・地方の若手メディア関係者及びメディア行政関係者で、所属分野も新聞、テレビ、ラジオ、出版(雑誌)、インターネットの制作・編集担当や記者、プロデューサー等の様々なメンバーで構成。首都圏及び地方の報道機関を訪問、メディア関係者同士で交流し、日中双方のメディア事情について理解を深めた。

各陣分団別に、日中共通の関心事項・課題からテーマを設定、それぞれのテーマに沿った中央省庁・自治体ブリーフ、関連施設・企業視察等のプログラムに参加したほか、海外メディア独自の視点で日本や各地域の魅力を発見し、各テーマに関する理解をより一層深めるため、自由取材として商店街等で街頭インタビューを実施、成果を報告会で共有した。第1・2陣とも地方でホームステイを実施、日本人の生活に触れ、一般市民と交流した。

**(5) 中国社会科学院青年研究者代表団** \*日中青少年交流推進年 認定事業

陣名	招聘期間	招聘人数	テーマ	訪問先	担当機関
第1陣	5月12日～5月19日	23	生態環境保護	東京、徳島	中国 社会科学院
第2陣	10月27日～11月3日	25	高齢化社会対策	東京、秋田	
合 計		48			

団員は社会科学院に所属する若手青年研究者で構成。日中共通の課題の中で、社会科学院から事前に提示されたテーマに関して、中央省庁や自治体、研究者によるブリーフ、関係者との意見交換、関連の視察・参観を行った。大学訪問では団員による研究発表も行い、相互交流を深めた。

【派遣事業】 1件 派遣人数 10名 明細下記

(1) 日本青年研究者訪中団 \*日中青少年交流推進年 認定事業

派遣期間	派遣人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
7月1日 ～7月7日	10	日本の大学・研究機関等に所属する青年研究者（テーマ：中国の経済発展と日中協力）	北京市 甘肅省	中国社会科学院 日本研究所

中国社会科学院日本研究所の招待により、日本の大学・研究機関等に所属する青年研究者を初めて派遣した（団長：丸川知雄 東京大学社会科学研究所教授）。中国社会科学院青年研究者代表団（招聘）との相互交流となった。テーマに基づき、中国社会科学院をはじめとする中国の研究機関・政府関係部門等を訪問し、青年研究者及び関係者との交流を行ったほか、甘肅省では蘭州市・武威市・嘉峪関市を訪問し、中国内陸部の経済状況や砂漠化防止・脱貧困の取り組み等を視察、今後の日中協力の可能性について幅広く関係者と交流、意見交換した。

## (公2) 寄宿舍施設の運営 : 留学生事業部

中国留学生・研究員の受入事業用施設として「後楽寮」及び「後楽寮研修棟」がある。「後楽寮」には203室(1階～3階)、「後楽寮研修棟」には34室(後楽賓館2,3階)がある。

### 1. 後楽寮入退寮状況

#### (1) 資格区分別入退寮者数

	平成31年4月1日 時点の在寮生数	平成31年度		令和2年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	114	77	77	114
単位公派	16	18	19	15
自費学生	39	5	23	21
華僑学生	1	1	1	1
合 計	170	101	120	151

\* 国家公派とは中国教育部の派遣留学生・研究員

\* 単位公派とは地方政府機関、大学、研究所の派遣留学生・研究員

\* 自費学生は大学院正規課程生(修士課程・博士課程)

#### (2) 男女別入退寮者数

	平成31年4月1日 時点の在寮生数	平成31年度		令和2年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男 子	87	51	56	82
女 子	83	50	64	69
合 計	170	101	120	151

### 2. 後楽寮研修棟入退寮状況

#### (1) 資格区分別入退寮者数

	平成31年4月1日 時点の在寮生数	平成31年度		令和2年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	8	17	11	14
単位公派	15	15	23	7
合 計	23	32	34	21

\* 国家公派とは中国教育部の派遣留学生・研究員

\*単位公派とは地方政府機関、大学、研究所の派遣留学生・研究員

## (2) 男女別入退寮者数

	平成 31 年 4 月 1 日 時点の在寮生数	平成 31 年度		令和 2 年 3 月 31 日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男子	14	16	18	12
女子	9	16	16	9
合計	23	32	34	21

## 3. 開館以来の入退寮状況

「後楽寮」は昭和 60 年(1985 年)4 月に、また「後楽寮研修棟」は昭和 63 年(1988 年)4 月に開設された。それぞれ満 34 年および 31 年が経過したが、その間の入退寮者数は「令和 2 年 3 月末現在」次の通り。後楽寮を退寮された寮生は工学、医療、文化などの各方面にて活躍中。

	入寮数	退寮数
後 楽 寮	4,087	3,937
後楽寮研修棟	1,080	1,058
合計(人)	5,167	4,995

## 4. その他

令和元年度 3 月においては例年 20 数名となる入寮者数は新型コロナによる日本の入国制限があり 4 名に減少した。

## 5. 後楽寮修繕・改修工事

### (1) 主な修繕・改修工事

- ・研修棟ポスト更新工事 (6 月)
- ・後楽寮地下 1 階厨房回転釜交換更新 (7 月)
- ・後楽寮 4 階理事室乾燥機交換工事 (7 月)
- ・後楽寮 3 階西側シャワー室水栓交換工事 (10 月)
- ・後楽寮男女トイレ換気扇更新工事 (10 月)
- ・後楽寮 3 階西側給湯室電気温水器交換工事 (1 月)
- ・インターネット接続障害対処作業 (1 月)
- ・エコキュート修理作業 (2 月)

### (2) 寮内環境改善工事

- ・居室冷蔵庫購入（年 30 台）・旧冷蔵庫との交換（4 月）
- ・後楽寮物干し台更新（4 月）
- ・後楽寮居室と共用部 Wi-Fi 設置工事（4、5 月）
- ・防災用備蓄品（緊急トイレ袋）購入（7 月）
- ・後楽寮のポスト更新工事（9 月）
- ・後楽寮居室入口スペースの床、壁、掲示板の更新工事（9 月）
- ・後楽寮および研修棟用の掃除機各階 2 台購入設置（10 月）

### (3) 定期点検

- ・受付遠隔システムの点検（4 月）
- ・厨房内ガス漏れ点検（5 月）
- ・後楽寮消防設備点検（6 月）
- ・後楽寮館研修棟消防点検（6 月）
- ・後楽寮電気設備年次点検：年 1 回定期（11 月）
- ・後楽寮・後楽寮研修棟消防点検（12 月）
- ・ダムウエーター点検（年 4 回）

### (4) 定期清掃

- ・粗大ごみ処分（年 2 回）
- ・中庭植栽剪定（年 2 回）
- ・居室のフィルター交換（毎年 2 回、研修棟は年 4 回）
- ・寮地下 1 階ワックス清掃（年 3 回）
- ・居室の消毒（年 3 回）
- ・窓ガラス清掃（隔月）
- ・居室シーツ交換（月 2 回）
- ・給湯室・トイレ・シャワー室等共用部清掃（週 5 日）
- ・後楽寮研修棟排水管高圧洗浄（研修棟 9 月、後楽寮 10 月）
- ・布団交換（寮・研修棟共 11 月）

## 6. 活動実績

### (1) 寮内行事

- ・本年度も 9 月 22 日に国慶節祝賀会、1 月 18 日に春節祝賀会を開催。この後楽寮の 2 大祝賀会は後楽寮の自治組織である寮生委員会主催による行事。毎回、交流行事やホームステイなどでお世話になった方々をご招待、交流を深めると共に寮生同士の親睦をはかる行事でもある。会館は今年もこの 2 大行事を支援。
- ・今まで毎年春と秋の 2 回実施していた新入寮生懇親会を入寮数が一定に達したら



実施するように変更。本年度は3回実施。

- ・11月には寮生委員会主催で後楽寮スポーツ大会を開催。ビリヤード、卓球、ダーツなど熱戦を繰り広げた。毎年のスポーツ大会は寮生同志の親睦を深め、後楽寮生の自覚を育み、日頃のストレスを発散する大切な行事となっている。

## (2) 寮外行事

- ・(一社)おせっかい協会主催のおせっかいゴミ拾い(中野)に初めて寮生が参加してゴミ拾いに汗を流した。(5月)
- ・本年度も長野県日中友好協会(7月)、日中加須市民会議(8月)とのホームステイを実施、会館は今年も支援。
- ・毎年参加している文京区国際交流フェスタ(2月)と毎年実施していた留学生事業部主催のスキ一体験教室(3月)は、楽しみにしていた寮生も多くいたが残念ながら新型コロナウイルスの影響により中止。

## (3) 後楽会(中国)友好联谊会

- ・設立8周年を迎えた後楽会(中国)友好联谊会(以下、後楽会(中国)という)は、第8回年次総会(11月9日)を初めて上海にて開催。また1月には北京にて新年会を開催した。両会とも新旧の後楽寮生OBが集まり盛況となった。11月の年次総会には会館から中国代表理事と留学生事業部職員が出席した。会館は本年度も後楽会(中国)を支援。

## (公3) 中国語及び日本語教育 : 日中学院

### 1. 全体の活動状況

入学式 (2019年4月5日)、授業開始 (4月10日)、卒業式 (2020年3月14日)  
 講演会 1回 (9月、早稲田大学千野拓政教授「越境するサブカルチャー」)  
 学院報 529～540号 (毎月1日付け発行)

### 2. 学科状況

本年度、日中学院の在籍者数

	定員	令和2年3月	平成31年3月	平成30年3月
本科1年	40 (2)	14 (1)	19 (1)	20 (1)
本科2年	40 (2)	13 (1)	13 (1)	12 (1)
本科研究科	20 (1)	2 (1)	1 (1)	6 (1)
日本語科1年	40 (2)	19 (1)	22 (2)	30 (1)
日本語科2年	40 (2)	17 (1)	22 (1)	15 (1)
日本語科10月生 1年	20 (1)	6 (1)	20 (1)	19 (1)
日本語科10月生 2年	—	18 (1)	15 (1)	—
別科 夜間講座		111	165	176
別科 昼間講座	—	360	371	361
別科 文化講座	—	12	12	—
合計		572	660	639

※ ( ) はクラス数

### 3. 各科活動状況

#### (1) 本科

##### ① 2019年度卒業生数

本科 10名 本科研究 2名

##### ②2019年度の主な行事

日本語科との合同合宿 (5月21日～22日) / 朗読大会 (7月2日)  
 文化祭 (10月26日) / 合同弁論大会 (2月4日)

③公開講座 8月31日、11月9日、1月25日に実施した。

④中国短期研修

派遣先：中国人民大学

派遣期間：6月24日～7月29日

参加者数：15名

⑤進路指導

- ・2年生進路面接 4月、9月
- ・本研学生の個人面談 4月、9月
- ・進路懇談会 6月

(2) 別科（付帯教育）

①公開無料講座 年間15回（26クラス）開講

②朗読大会 9月28日

③日本語科留学生との昼食交流会 6月5、6、7日

④短期留学 派遣先：天津外国語大学 参加者数：17人

期間：9月20日～27日

(3) 日本語科（専門課程）

①卒業生数 29名（内7名修了）

②2019年度の主な行事

本科との合同合宿（5月21日～22日）、別科との昼食会（6月5、6、7日）、ホームステイ（7月13日～15日）、

バスハイク（10月6日飯能ムーミン公園）、10月生入学式（10月15日）、文化祭（10月26日）、小石川庭園見学（12月4日）、

国会見学（1月22日）、春節パーティ（1月24日）、

合同弁論大会（2月4日）、

③進路指導 進学説明会（6月28日） 個人面接（12月6日）

4. 校友会活動

①文化祭発表（10月26日）

②校友会旅行（20年3月に中国の杭州、寧波など6日の江南訪問旅行を予定し、募集を始めたが、応募者が少なく、また日中両国で渡航制限措置がなされたため、旅行計画を中止した）

## 5. 日中学院評議会

開催日時	場所	議事事項
第39回 2020年2月18日(火) 午後2時30分～4時	日中学院	〔議事〕 ① 2020年度年日中学院活動計画について ② 2020年度日中学院収支予算について ③ その他

## (公4) 文化事業 : 文化事業部

《2019年度の文化事業》

主催・協力事業：合計4件、会館美術館での貸美術館催事：合計14件

### 1. 主催・協力事業

#### (1) 「金山農民画展 中国のレトロ&ポップ」

会期：2019年6月6日（木）～6月26日（水）

来場者数：2,138人（18日間・1日あたり115人）

大胆な構図と自由な発想で描かれた、明るく開放的なモダンアートとして、「中国三大農民画の郷」に数えられる上海市金山区の農民画展。江南地方特有の文化・風習が描かれた農民画70点を展示。

会期中は子連れでも楽しめる展覧会を目指し、多様なイベントを開催。

- ・「こども鑑賞会」（NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会）
- ・「農民画ワークショップ」（金山農民画師森安剛志氏）
- ・「ぬりえコーナー」（会場内に常設）
- ・「プラバン作り」（週末限定開催）
- ・「クイズチャレンジ」（会場内に常設）
- ・「SNS投稿キャンペーン」（会場入口に顔はめパネルを設置）
- ・「ミュージアムコンサート」（揚琴奏者張林氏）

来場者アンケートには以下の声が寄せられた。

- ・中国にこんなにかわいい絵があることを初めて知った。
- ・レトロだけどどこか懐かしくてとても楽しく鑑賞できた。
- ・ぬりえコーナーで子どもがぬりえをしている間、ゆっくりと鑑賞できた。

また会期中、本展覧来日作家陸学英氏のインタビュー記事が日経新聞文化欄に掲載され、大きな反響を呼んだ。

#### (2) 第29回中国文化之日 「孔雀の舞う楽園 雲南省シーサンパンナの少数民族衣食住展」

会期：2019年9月27日（金）～10月20日（日）

来場者数：1,837人（19日間・1日あたり97人）

雲南省シーサンパンナ・タイ族自治州に暮らす少数民族の衣食住を紹介する展覧会。

今回の「中国文化之日」は、楽園といわれる雲南省シーサンパンナ・タイ族自治州に住む少数民族の文化と暮らしをテーマとした。その展覧会として、代表的な6民族(タイ族・ハニ族・ラフ族・プーラン族・ジノー族・ヤオ族)を取り上げ、民族衣装、装飾品、楽器、タイ族陶器、貝葉経、住居模型、機織機などの展示品約60点と共に、多数の風情ある写真で製作したパネルを展示した。

ただ展示を見るだけにとどまらず、来場者に五感を通して展覧会を多角的に楽しんで頂くために、会期中は以下の関連する体験やイベントを開催。

- ・タイ族織物・ハニ族刺繍の中国無形文化遺産传承人による「制作実演」
- ・来日した公演団による「ミニコンサート」
- ・伝統楽器(ジノー族「奇科」とタイ族「象脚鼓」)の体験コーナー(会場内に常設)
- ・タイ族とハニ族の頭飾りをつけられる記念撮影コーナー(会場内に常設)
- ・少数民族の昔話の絵本を制作。その閲覧コーナー(会場内に常設)
- ・レストラン「ふく」とのコラボレーションによる雲南米線の提供(会期中割引)

来場者アンケートには以下の声が寄せられた(一部抜粋)。

- ・普段なかなか知る事のない雲南省の少数民族について沢山の展示物を拝見し、楽器や帽子など実際に触れる事が出来てとても楽しかった。
- ・会場に置かれていた少数民族の昔話がとても良く出来ていた。
- ・とても美しい刺繍に驚いた。
- ・体験で小物をつくりとても楽しかった。
- ・服の実物とそれを着た現地の人の写真があったのでわかり易かった。
- ・シーサンパンナの少数民族の村に旅をしたいと思った。
- ・珍しい米线も食べることが出来て美味しかった。

### (3) 第29回中国文化之日 「孔雀の舞う楽園 雲南省シーサンパンナの少数民族歌舞公演」

会期：2019年10月18日(金)～10月20日(日)

全5回公演

来場者数：844人(3日間・1日あたり281人)

雲南省シーサンパンナ・タイ族自治州民族歌舞団による歌舞公演。

無形文化遺産传承人によるタイ族武術をはじめ、タイ族、ハニ族、プーラン族の歌舞及び民族衣装のファッションショーなどを披露。司会の衣装や会場の装飾などにもこだわり、異国情緒漂うシーサンパンナの魅力を伝えた。

例年は文京区立金富小学校の3年生児童と埼玉県のいなほ保育園の園児を招待し招待公

演を行っているが、今回は「子ども鑑賞会」とし、招待児童・園児以外に12歳以下の子供とその保護者が無料で鑑賞できるよう変更。

来場者アンケートには以下の声が寄せられた(一部抜粋)。

- ・美しく気品があり今まで見た中で一番素晴らしいショーだった。
- ・派手な演出がなく、とても見やすかった。素朴さが素敵だった。
- ・多様な中国文化を体感できた。
- ・この素晴らしい公演を多くの人に見てもらいたい」など。

#### (4) 「ちいさな世界の物語 中国練り粉人形展」

会期：2020年1月18日(土)～2月8日(土)

来場者数：1,543人(19日間・1日あたり81人)

小麦粉や米粉を粘土のようにした材料で人物などを形作る民間工芸「練り粉人形」の展覧会。

練り粉人形は、中国語では「面塑(ミエンスウ)」、「面花(ミエンファ)」などと呼ばれている。中国国家級無形文化遺産に登録されている上海の練り粉人形を中心に、無形文化遺産伝承人による作品を含む練り粉人形82セットを展示。同時に、(株)創通エンタテインメントに許可を得て「機動戦士ガンダム」練り粉人形も制作と展示。

中国のお正月である春節の時期に開催されるので、会期中、幅広い層が楽しみ、親しみを持てるように、以下のイベントおよび企画を行った。

- ・「親子で作ろう！こども粘土教室」(練り粉人形出展作家湯健氏)
- ・「おはなし会」(文京区立図書館ボランティア・ふらここの会)
- ・「ニューフラワーアート」(講師亀井慧子氏)
- ・「笛のミュージアムコンサート」(笛奏者王明君氏)
- ・「中国グッズの抽選会」  
(会期中の土曜日)

来場者アンケートには以下の声が寄せられた(一部抜粋)。

- ・泥人形は知っていたが、小麦粉でできた練り粉人形は初めて知った。
- ・とても細かいところまで表現されていて素晴らしい。
- ・子供達の声や京劇の楽器、歌唱、せりふなどの音までも聞こえてくるような気がする。
- ・「新年らしい人形もあり、見ていて幸せな気分になった。

## 2. 貸美術館展覧会実績（2019年4月～2020年3月）

NO.	展覧会名	会期	主催
1	不思議大国・インドー鄧予立写真展	4月10日～4月16日	外為ファイネスト株式会社
2	中国画家何曦絵画展	5月8日～5月14日	上海美術家協会中国画芸術委員会
3	3名の美術評論家が推す2019注目作家展～第5回美の視点	5月16日～5月20日	溢鑫（上海）文化発展有限公司
4	真広法師中国画作品展	7月16日～7月22日	溢鑫（上海）文化発展有限公司
5	上海ビジュアル芸術大学ファッション学院優秀作品展	7月24日～7月30日	上海視覚芸術学院
6	水木櫻華－清華大学校友東京芸術招待展	8月1日～8月7日	清華大学同窓生総会文創專業委員会、清華大学同窓生書画社
7	シルクロード・文明・伝承－世界華人書道精品巡回展	8月22日～8月30日	全日本華人書法家協会
8	孫本長師徒展	9月5日～9月9日	（一社）国際工筆画会、天津美術家協会
9	Sailing Around the World～アジア友好とSDGs写真展～	11月12日～11月15日	株式会社ジャパングレイス
10	第22回 国際水墨画交流展	11月18日～11月24日	国際水墨画交流協会
11	中日三校書画作品聯合展	11月26日～12月2日	中央工芸美術学院師友画院
12	浙江青田石篆刻芸術作品展	12月4日～12月10日	西泠印社、浙江省僑聯、青田市人民政府
13	世界自然遺産＜中国神農架（シンノウカ）＞生命賛美－都天貴油絵と姜坤権水墨画作品展	12月12日～12月16日	神農架林区文学芸術界連合会
14	第十八回天真書法塾発表会	2月21日～2月23日	（一財）天真会 天真書法塾



## 〔Ⅱ〕収益事業

### オフィスビル賃貸事業及びホテル運営業務：資産管理部

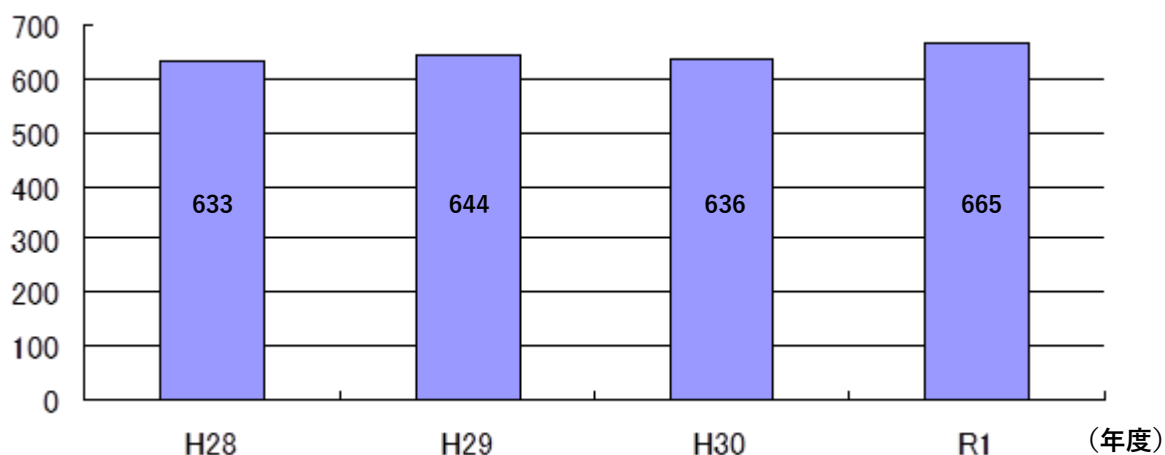
#### 1. オフィスビル賃貸事業（後楽国際ビルディング）

令和元年度の賃貸料収入は約 665 百万円であり、対前年度比で約 29 百万円の増加となった。

期中にテナント賃料の増額改定が進んだ事、またテナントの退去が無く、返室も倉庫 1 室（8 m<sup>2</sup>）で留まった事が要因となり、賃貸料収入が増加した。

新型コロナウイルスの感染拡大に関しても、2019 年度迄は大きく影響を被る事は無かった。

#### 賃 賃 料 収 入（年度別推移）



※賃貸料収入には、テナント賃料の他、駐車場・駐輪所使用料、大ホール・会議室使用料等の収入が含まれている。

#### 2. ホテル運営業務（後楽ガーデンホテル）

令和元年度のホテル室料収益は約341百万円、客室稼働率は71.3%、客室平均単価は8,386円であった。

前年度との比較では、売上(▲37百万円)、稼働率(▲8.4%)、客室平均単価(▲29円)と全てで減少。

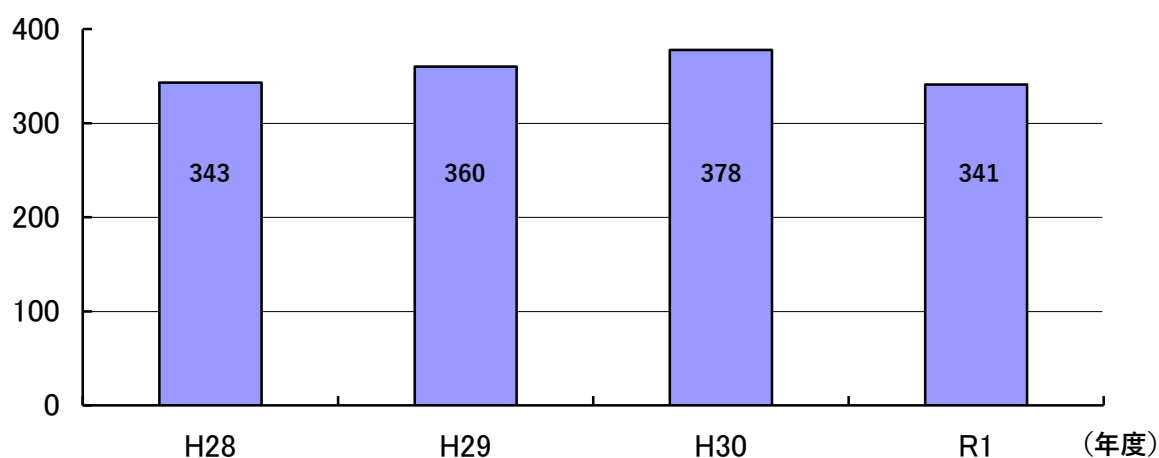
近隣ホテルとの競争激化や、宿泊に結びつくドームイベントが例年より少なめであった事など、集客に苦戦する面もありながら、年明けまではほぼ前年度並みの売上を期待して

いたが、2月下旬より新型コロナウイルスの感染拡大の影響が出始め、続く3月には稼働率15%とこれまでに無い低水準な結果を記録する事となった。その後、4月20日～5月31日（予定）まで休業に入っている状況。

※ホテル室料収益には、ホテル客室（150室）の売上に加え、2～3階研修棟（38室）の売上也加算されている。

### ホテル室料収益（年度別推移）

（単位：百万円）



### 3. 設備投資計画

設備改修・修繕工事等は設備投資計画書に基づいて実施。

令和元年度実績は、添付資料②「令和元年度 資金調達及び設備投資計画書 執行状況（着地）」をご参照下さい。

期間中に実施した主な工事は下記の通り。

#### 「設備投資計画書の工事区分 工事項目／実施時期 工事金額（税抜）」

##### 1. 後楽ガーデンホテル

1-① 8F（18室）改修工事／5～6月 41,999千円

1-②・③ 8F（2室）&11F（スイート）ユニバーサルルーム化改修工事  
／10～12月 59,593千円

##### 2. 後楽国際ビルディング

2-② 二段駐車部品交換工事／7～8月 11,945千円

2-④ 日立製昇降機(3,4&5号機)UPS制御盤新設工事／3月 11,800千円

##### 6. 本館共通

6-② 受変電設備及び電灯盤更新工事／3月 42,200千円

6-⑦ 中央監視設備更新／3月 16,000千円

7. 別館共通

7-② 一般電灯及び動力設備更新工事／3月 10,800千円

## 〔Ⅲ〕 その他の事業

### 1. 会員相互友好事業 : 日中友好後楽会

賛助会員組織「日中友好後楽会」は、会館の施設を活用し中国人留学生と直接交流を行うことで相互理解を深め日中双方の親睦の促進を目的として1989年7月創設(当初の会員は90名)。

#### ① 会員数

令和2年3月末現在の会員数は66名、法人会員2社。個人会員は前年度末から1名減少、法人会員は同数だった。近年は会員の高齢化による会員数減少が進んでいるが、入会希望者は随時受け入れるといったスタンスで運営を継続。

#### ② 談話会・会員集会

月例の行事として、談話会・会員集会を原則として月1回開催。4月、8月、12月は、新年度、お盆休み、年末多忙などの理由で休会としている。通例として、談話会は後楽寮生を講師として招き専門分野における研究成果の一端を披露してもらう。大勢の前で話す経験や場を踏むことにより、大学院での研究発表・講評・口頭試問などへの準備として有効なため寮生も積極的であり、また会員からも様々なテーマの講義を聞けると好評である。

本年度の談話会は5回実施され、終了後には立食形式による懇親会を開催、食事を楽しみながら自由に寮生と会員が歓談した。毎回の談話会の出席者は会員、寮生合わせて30名程度である。

また令和元年度の総会(11月21日)は41名が出席し日中友好会館内地下1階の『豫園』で行われた。

#### ③ 友好バスハイク

年2回、会員と後楽寮生が都内あるいは近郊へ友好ハイキングに出かけている。主に貸切バスを利用し、朝から夕刻まで長時間会員と寮生が行動を共にするため、実りの多い交流・交歓の機会になっている。令和元年5月9日、令和元年10月29日には神奈川県方面への日帰りバス旅行を行った。

#### ④ 中国旅行

年に一度の会員対象の中国旅行は、7月19日～7月26日の8日間で、新疆ウイグル自治区ウルムチ・トルファンを巡った。参加者は17名。現地在住の元後楽寮生との交流会など、後楽会旅行ならではの活動を行い、交流を図ることができた。

#### ⑤ 会員向け文化講座

現在、月2回、第1、第3木曜日に実施している気功教室と中国画教室は、いずれも専門家の指導の下、長年続いている。

## ⑥ 観桜会

会館行事として、毎年桜のシーズンに観桜会を催し、中国大使館をはじめ、会館理事・評議員、後楽会会員、後楽寮生を招待している。令和1年度の観桜会は3月に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、中止となった。

令和元年度後楽会活動（平成31年4月～令和2年3月）

日付	催事	参加者数
平成31年 4月23日	春季友好バスハイク（神奈川県方面 横須賀美術館、三笠公園、YOKOAUKA軍港めぐり）	24(10)
令和元年 6月27日	談話会・会員集会「先哲とアジア意識—400年にわたる一本の糸」 講師：唐剣明	37(8)
7月19日 ～7月26日	中国旅行（新疆ウイグル自治区）	17(14)
9月18日	談話会・会員集会「中日無形文化遺産保護・伝承の比較研究」 講師：劉洋	22(8)
10月23日	談話会・会員集会「モンゴル仏教の伝承と現状—内モンゴルを中心に—」講師：梅花	27(12)
10月29日	秋季友好バスハイク（神奈川県方面 神奈川県立生命の里・地球博物館、小田原城、寄木細工体験）	25(10)
11月21日	全体集会 後楽会会員総会（もみじの会）	41(20)
令和2年 1月27日	新春談話会	41(19)
2月6日	談話会・会員集会「中国古典舞踊と中国民族民間舞踊」講師：劉陽	25(6)

（ ）内は後楽会員数

## [IV] 法人の状況

### 1. 評議員会

開催日時・場所	議 事 事 項
第14回評議員会 (書面決議) 令和元年6月26日(水) 日中友好会館	議題 第1号議案：平成30年度 事業報告の承認 (自平成30年4月1日至平成31年3月31日) 第2号議案：平成30年度 計算書類の承認 (自平成30年4月1日至平成31年3月31日) 第3号議案：平成31年度(2019年度)事業計画、収支予算書、資金調達及び設備投資計画一部変更の承認
臨時評議員会 令和2年3月30日(月) 日中友好会館	第1号議案：令和2年度 事業計画書、収支予算書、資金調達・設備投資計画書の承認 (自令和2年4月1日至令和3年3月31日) 第2号議案：令和2年度常勤役員の報酬(案)の承認

## 2. 理事会

開催日時・場所	議 事 事 項
第 32 回理事会 令和元年 6 月 7 日 (金) 日中友好会館	議題 第 1 号議案：平成 30 年度 事業報告・計算書類の承認 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日) 第 2 号議案：平成 31 年度(2019 年度)事業計画、収支予 算書、資金調達及び設備投資計画一部変更の承認 第 3 号議案：定款第 7 条第 1 項一部変更の承認 第 4 号議案：就業規則の一部改訂 第 5 号議案：参与選任 第 6 号議案：定時評議員会招集の議決 ・日時 令和元年 6 月 26 日 (水) 15 時～17 時 ・場所：日中友好会館 地下 1 階 大ホール ・議題：①平成 30 年度 事業報告 ②平成 30 年度 計算書類の承認 ③平成 31 年度(2019 年度)事業計画、収支予 算書、資金調達及び設備投資計画一部変更の 承認 ④定款第 7 条第 1 項一部変更の承認 報告 代表理事の職務の執行状況 (平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月) 定期預金残高の報告 (平成 31 年 3 月末現在)
第 33 回理事会 令和元年 9 月 6 日 (金) 日中友好会館	議題 第 1 号議案：職員社宅規程の一部改訂 報告 代表理事の職務の執行状況 (平成 31 年 4 月～令和元年年 8 月) 定期預金残高の報告 (令和元年 8 月末現在)
第 34 回理事会 令和元年 12 月 9 日 (月) 日中友好会館	議案 第 1 号議案：日中学院 一般書店での教科書出版販売の 件 第 2 号議案：中国政府派遣職員向け待遇改善の件(嘱託就 業規則等の改訂)

	<p>報告：</p> <p>(1) 代表理事の職務の執行の状況 (自令和元年9月～令和元年11月)</p> <p>(2) 定期預金残高の報告 (令和元年11月末現在)</p>
<p>第35回理事会 令和2年3月9日(金) 日中友好会館</p>	<p>議案：</p> <p>第1号議案：令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日) 事業計画書、収支予算書、資金調達・設備投資計画書の承認</p> <p>第2号議案：臨時評議員会の招集の議決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 令和2年3月30日(月) 10時～12時</li> <li>・場所：日中友好会館 地下1階 大ホール</li> <li>・議題：①令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日) 事業計画書、収支予算書、資金調達・設備投資計画書の承認</li> </ul> <p>②令和2年度 常勤役員の報酬(案)の承認</p> <p>① 第3号議案：新文化事業部長 楊建興氏の採用の承認)</p> <p>報告</p> <p>(1) 代表理事及び常務理事の職務の執行状況 (令和元年12月～令和2年2月)</p> <p>(2) 留学生事業部 部長 張毅氏の着任</p> <p>(3) 定期預金残高の報告 (令和2年2月末現在)</p>

### 3. 中国日本友好協会との定期交流

中国日本友好協会との相互訪問協議書に基づき、定期交流を目的として、9月16日から9月19日まで、荒井理事長以下5名の役職員が北京を訪問した。日中青少年交流事業について意見交換したほか、密雲区を訪問し新たな地域活性化の成功例「古北水鎮」等を視察した。一方、10月16日から10月20日まで、袁敏道 中国日本友好協会秘書長を団長とする中日友好協会代表団4名が来日した。会館主催事業であり、企画段階から袁秘書長の協力を得た第29回中国文化之日「孔雀の舞う楽園」雲南省シーサンパンナの少数民族歌舞公演・衣食住展を観覧し、また、日中友好団体等を訪問した。



#### 4. 広報 : 広報チーム

組織横断型の広報チームが各部の意見を取りまとめ、より有意義な広報を目指して活動。

当会館広報誌として毎月発行している「会館だより」は、各部の活動報告のタイムリーな掲載を心掛け、昨年同様に毎号ホームページにも掲載。年度初めの会長挨拶、年頭の理事長と中国代表理事の挨拶、役員によるコラムの掲載を継続。各部の重点事業については、特集記事を組み、実施結果をアピールした。また、後楽寮生によるコラムを継続し、寮生それぞれの留学生活の一端を紹介する企画とした。

会館ホームページは引き続き安定して運営。情報の見やすさ、使いやすさのアップのため、一部ページの見直しと更新を行い、情報の随時更新に努めた。文化事業部のフェイスブックは年間の主要行事を中心に発信。

会館パンフレットの一部分内容を改訂し、増刷した。

活動の総括として「日中友好会館年報」を令和元年7月に発行し、関係先に配布。

メールマガジンの発行は、毎月初旬に「会館だより」を主な内容として発行し、送付先拡大のため、各部の関係先を見直し追加した。

#### 4. 人事異動（副部長以上）

夏瑛	留学生事業部部長	離任	（令和元年12月31日）
張毅	留学生事業部部長	着任	（令和元年12月6日）
楊建興	文化事業部部長	着任	（令和元年12月25日）

5. 在籍者（令和2年3月31日現在）

2020年3月31日時点

2020/3/31

	役員		職員				参与/嘱託		臨時職員		派遣職員		出向受入		計	
			管理職		非管理職											
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
役員・事務局長	3						1								4	
	3						1								4	
総合交流部			5		10		2				3				20	
			1	4		10	1	1				3			2	18
留学生事業部			2		2		3				1				8	
			1	1	1	1	3					1			5	3
文化事業部					2		1				1				4	
						2	1					1			1	3
資産管理部			1												1	
			1												1	0
総務財務部			1		3		1				1				6	
			1		2	1	1					1			4	2
その他															0	
															0	
計	3		9		17		8				6		0		43	
	3		4	5	3	14	7	1			6	0		17	26	

※参与/嘱託 管理職5名

	教員		職員		計	
	男	女	男	女	男	女
	日中学院	62		5		67
	13	49	2	3	15	52

以上